

もくじ

・ いつすんぼうし

いつすんぼうし

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： イシイ アケミ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

むかし むかし、あるところに、
おじいさんと おばあさんが すんでいました。

こどものいなかつた ふたりは、
まいにち かみさまに おいのりをしていました。

「かみさま、おねがいします。どうか わしらに、
かわいいこどもを さずけてください」

すると かみさまは、
ふたりのねがいを ききいれて、
それはそれは ちいさな おとこのこを
さずけてくれました。

そのこの おおきさは、
ほんの いっすんほどしか なかつたので、
ふたりは そのこに『いっすんぼうし』と
なづけました。



それから なんなんも たちましたが、
 いっすんぼうしは ちっとも おおきく
 なりませんでした。けれども、おじいさんと
 おばあさんは、いっすんぼうしに かたなの
 つかいかたや、さむらいとしての
 ふるまいかたなどを、きびしく おしえました。
 そのかいあって いっすんぼうしは、
 とても おやこうこうな、
 かしこいこどもに そだちました。

あるひ、いっすんぼうしは、
 おじいさんと おばあさんに いいました。

「おじいさん、おばあさん、わたしは たびにでます。
 みやこへいって、さむらいとして
 おやしきに つかえたいのです」

ふたりは とても おどろきましたが、
 かわいいこどもの せいちょうをよろこび、
 いっすんぼうしが みやこにいくことを
 ゆるしてあげました。

